

4月から川奈臨海学園に配属になりました。学生のときに実習させていただいた川奈臨海学園で保育士として働くことができることをとても嬉しく思います。まだ不慣れなことも多く不安な気持ちでいっぱいですが、学生の頃から目標としている「一人ひとりに寄り添うことができる保育士になる」という気持ちを大切にしながら子どもたちのために自分ができることは何かを考え、毎日笑顔と感謝の気持ちを忘れずに頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

女子フロア担当 保育士

### 新任職員紹介



令和7年度

# 学園だより 春号

第575号

編集・発行

川奈臨海学園

〒414-0044 伊東市川奈 509-7

TEL 0557-45-0509 FAX 0557-45-5169

E-mail [rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp](mailto:rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp)

URL <https://www.saiseikai-kawana.jp>

## 男子フロア

## 卒業式

3月、男子フロアから4人の中学生・高校生がそれぞれの学校を卒業しました。

3年前は引きずっていたズボンの丈は気付けば何度も直す程に、ベルトの穴は余らなくなる程に身体も大きくなりました。この3年間で人間関係に悩み、進路に悩み、時には涙を流して大人と衝突することもありました。決して楽しいばかりではなかった学校生活も終わりが近づくと寂しさが溢れ、卒業式当日の朝は思い出に浸ります。最後のホームルームでは仲間たちと大いに盛り上がり、学校でしか見せない表情がありました。

自分たちで選んだ進路に自信と責任を持ち、それぞれの新しい道を堂々と歩んで欲しいと思います。

男子フロア担当 保育士



## 交流会

- |          |       |
|----------|-------|
| 木工ボランティア | 菱田夫妻様 |
| 学習ボランティア | 紀藤信哉様 |
| 散髪ボランティア | 野口伏美様 |
|          | 伊石裕司様 |

## 川奈臨海学園基本理念

子どもの最善の利益のため、子どもたち一人ひとりが尊重され、心身ともに健やかに育成され、将来健全な社会の一員として自立できるよう支援を行う

## 寄付

- トヨタユニテッド静岡株式会社様
- 東静岡ヤクルト販売株式会社様
- 島谷俊太郎様
- 奏の森 Resorts 様
- 馬淵商事様

## 編集後記

日を追うごとに春らしくなってきました。新しい年度を迎え、子どもたちもそれぞれ進級・進学に期待と不安を胸に元気よく登校しています。今年度もより良い一年間になるよう支援していききたいと思います。

## お知らせ

### 帰省期間

- 5月2日～5月6日・5月16日～5月18日  
6月13日～6月15日  
7月25日～8月24日

帰省については児童相談所の許可のもと、各御家庭へ連絡しております。

尚、予定されている帰省期間は、感染症の流行状況に応じて変更する可能性がありますので、ご承知おきください。

## 女子フロア

## 入学式

桜が満開の中、高校生たちの入学式が行われました。真新しい制服を身に纏い、気持ちを新たに高校生活をスタートする子どもたちの様子を見て、懐かしい気持ちと初々しさを感じました。

式典では、一人ひとり立派な返事をしていました。私の担当している児童は、生徒代表の挨拶を頼まれていた為、皆の前で堂々と宣誓の挨拶をしてとても誇らしく思えました。

式の後には、担任の先生の発表や初めてのホームルームがあり真剣に先生の話を聞く姿がありました。

高校生活はあっという間に過ぎ去ってしまう

ので一日一日を大切に目一杯青春を謳歌してもらいたいと思います。

女子フロア担当 児童指導員



連絡事項	
身長	cm
体重	kg

## 低年齢児フロア

# 入園式

4月8日、1人の女の子が幼稚園に入園しました。入園前に何度か幼稚園へ行く機会があり、その度に「ちょっとだけ楽しい。けどいっぱいには楽しくないの。」と不安をこぼすことがありました。普段は元気いっぱいに過ごしているので、幼いながらも緊張して、不安を抱えていることが伝わってきました。ですが、幼稚園入園日が近づくにつれて「幼稚園楽しみ」という言葉を聞く機会が増えました。

入園式当日の朝、普段よりも早く起きてワクワクドキドキしながら出発を待っていました。肩から落ちてしまいそうなカバンを一生懸命背負って、ニコニコ笑顔で職員に見送られながら入園式に向かいました。これからの幼稚園生活は、楽しいことや嬉しいこと、時には辛いことや悲しいこともあると思いますが、様々な感情を共有しながら、成長を見守っていきたいと思います。



低年齢児フロア担当 保育士

## 地域小規模わかかな

# テニスを満喫

寒い冬の間、外で遊びたくても寒さには勝てない…と自然と家の中にいることが多くなっていました。少し気温が暖かくなってきた3月20日、わかかなのメンバーはテニスコートを貸し切ってテニスを楽しみました。

テニス初心者の子も、経験者の子も思い思いに凝り固まった体を動かして楽しみました。経験者の子に挑んだ職員も本気を出すほどに熱くなり、お互いに譲らない接戦を繰り広げていました。初心者でも少しやっただけでコツを掴み強烈なスマッシュを打つ子、どんな球でも食らいついて打ち返す子もいました。貸し切り時間いっぱいまで走り回っても元気な子どもたちの体力には驚かされました。帰る頃にはみんなお腹がペコペコです。いっぱい体を動かして自然にお腹が空く。そんな健康的な時間を過ごせた良い1日でした。



地域小規模わかかな担当 児童指導員

## 地域小規模 あおば

# 社会人になりました

あおばでは1人の男の子が、4月から社会人として大人の仲間入りを果たしました。退園も目前となり、憧れの一人暮らしをするため、調理実習や家電探しなどに励み、実感も湧かない中、大人になる大変さを学んでいました。

遂に退園の日となりました。出発が朝早いにも関わらず、玄関には生活を共にしたあおばの児童全員の姿がありました。少し不安そうだった表情も軽くなり、笑顔で出発しました。

昨日まで寝ていたはずの部屋には、机と寝具だけが残り心配や寂しさも募りますが、社会の波に負けず学園での生活を思い出しながら、彼らしく頑張っている様子です。

地域小規模あおば担当 児童指導員



# 東海道シグマ



3月21日に社会的養護自立支援拠点事業でされている東海道シグマさんが主催する職場見学に参加しました。見学先は静岡市内にある株式会社ショクザイ様と有限会社前田重工業様でした。

ショクザイ様では食品を加工製造している工場内を見させていただき、子どもたちは間近で見る機械の大きさや保管庫の寒さに驚いていました。見学を通して、食の安全を守るために徹底した管理がされていることを学びました。前田重工業様では重機を扱い、交通インフラに関わってい

るお話をうかがいました。1階の重機カフェには重機の採掘作業が体験できるシミュレーターがあり、初めての重機操作に戸惑いながらも、楽しんでいました。

子どもたちは職場見学で得た体験を通して、それぞれが持つ仕事像にまた一つピースを増やした様子です。お忙しい中このような場を設けてくださった皆様に心よりお礼申し上げます。

自立支援担当